

日本ブドウ・ワイン学会（ASEV JAPAN）第 128 回常任理事会議事録

日時：2022 年 9 月 21 日 17:00～18:00, 18:20～18:53

場所：オンライン Zoom 会議

出席者：会長：後藤，事務局長：奥田，書記：中尾，理事：小原，小林，恩田，齋藤，澤邊，宮井，編集委員長：小田，事務局：渡辺（斉藤），久本，陪席：安蔵

協議事項

1. 2022 年日本ブドウ・ワイン学会大会について

澤邊大会担当理事，久本事務局員より 2022 年甲府大会の説明があった。大会実行委員長は安蔵氏（山梨県ワイン酒造組合理長）。一般講演は YouTube でのオンデマンド形式。評議員会は 26 日午前。セミナーと受賞講演は 26 日午後に対面。大会要旨は紙媒体とせずオンライン配布し，学会誌 No.2 と 3 を合併号として，送付する。ことについて説明があり，承認された。また，奥田事務局長よりアメリカ学会本部より招待する，Tom Collins 氏（2021-2022 ASEV President）の来日は不確定と説明があった。

2. 2022 年 学会賞について

小原学会賞担当理事より，学会賞選考委員会で選定された功労賞 1 件，技術賞 1 件，論文賞 2 件が提案され，承認された。

功績賞：該当なし

功労賞：奥田氏（山梨大学）「日本ブドウ・ワイン学会の運営および学術的貢献」

技術賞：山梨県果樹試験場・山梨県ワイン酒造組合「‘甲州’のワイン用推奨系統の選抜および普及」

論文賞：鈴木氏・榎氏（山梨大学）「‘甲州’ブドウの特性解明に関する研究」，

清水氏（酒類総合研究所）「ワインの無機元素に関する研究」

3. 2023 年から 2024 年の学会役員について

恩田選挙担当理事より，2023 年から 2024 年の役員候補者案が提示され，評議員は地域分布を考慮したと説明があり，資料に基づき承認された。奥田事務局長より評議員の人選についてアメリカ学会の規約との調整を進めていくと意見があった。

4. 学会誌の発行について

小田編集委員長より，2022 年の学会誌は 2 号と 3 号を合併号として発刊すること，2023 年度から 1 と 2 号の 2 冊にすることが提案され，次回の総会で諮ることが承認された。

5. 2023 年大会について

奥田事務局長より，2023 年大会の開催地を名城大学（愛知・名古屋）にする提案があり，

承認された。

報告事項

1. 学会 Web サイトについて

奥田事務局長より、新しい学会の Web サイトの運用が開始され、引き続きサイトについての意見を頂きたいと報告があった。

以上